

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 1 月 8 日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	1 人	2 人	3 人	9 人

前回の改善計画	福祉ソフトの導入により記録が電子化されることとなった。職員がタブレットの使用に慣れ、情報の伝達が円滑に共有できる。
前回の改善計画に対する取組結果	連絡帳をタブレット端末で入力することができようになったが、一定の職員しか使えていない実情がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	2	1	1	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	7	1		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	1		1	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	5			9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・新規利用者に対しては、ミーティング等で情報を共有し、声掛け、気遣いはできていると思う。小さな気づきにも夕方のミーティングで話ができている。</li><li>・利用開始前の話し合いに参加。ご本人やご家族の思いをしっかりと聴くことに努めている。</li><li>・通い時、ご本人が孤立しない様に座席や声かけに心がけている。</li><li>・毎日利用後、その反省、気づきなど話し合い、ご利用者様の支援の向上に努めている。</li><li>・ミーティングで情報を共有している。</li><li>・食事の面では聞いていることは準備して必要なことは、途中からでも取り入れえている。</li><li>・声かけはできるだけするようにしている。</li><li>・連絡帳をシステムから入力できるようになった。しかし、もっと効率化が図れるよう検討をする必要もある。</li><li>・利用者同士関われるよう共通の話題を見つけている。</li><li>・利用者の関係を考え、席の位置に注意している。・家族、介護者に気軽に話かけて頂けるよう努めている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・ミーティングで話したことが全職員に伝わっていないことがある。聞いていなかった等の声ができることがある。→聞いていなかったではなく、仕事として自分から知ろうとする姿勢が足りていないのではないかと。情報共有の手段も工夫が必要なのかもしれない。</li><li>・タブレット使用が円滑にできていない。→タブレット操作に関わる時間がない。</li><li>・お泊りの希望に応えられないことがある。→職員の勤務体制</li><li>・訪問はしていない。・タブレットは使う役割ではない。</li><li>・職員全体に伝わっていないことがある。→朝礼時、ミーティングノート、個人の記録をしっかりと見ていないため。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
些細なことでも情報が共有できるよう、毎月 1 回のミーティング開催と連絡ノートの活用充実を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 1 月 8 日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	1 人	人	9 人

前回の改善計画  
勤務時間の関係でミーティングに参加できていない職員がいるが、必要な伝達事項は申し送りの時にチェック項目を作り、確認できているかが分かる様式にして伝達漏れを防ぐ。

前回の改善計画に対する取組み結果  
連絡帳の活用や、ケアプランとは別に利用者情報を共有してきた。しかし、十分に職員全体に伝わっていなかったこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	5	2		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	2	1	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	2	1	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	4	1	2	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ 夕方のミーティング (反省) は毎日できている。
- ・ 利用開始前の話し合いへの参加
- ・ ご利用者様のニーズを把握するため、声かけ、観察をしている。
- ・ 毎日利用後、反省点や気づきを話し合い、翌日朝のミーティングで発表している。
- ・ 気づいたことは、伝えている。
- ・ 本人の立場に立ったアセスメント、プランニングを心がけている。
- ・ どんな支援をしたか記録に書くようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ 伝達漏れは改善できていない。また、利用者の目標を理解せず一日を過ごしている。→利用者に目標～したい等きちんとケアマネと話ができていない。知ろうとしていなかった。
- ・ ミーティングの内容などの発表や書面での申し送りはできているが、その内容をしっかり確認できていないことがあり、ケアの不備につながっていると思われる。→ミーティングに参加できていない職員が内容把握の認識不足による。
- ・ 本人の目標を理解できないので記録等で確認する。
- ・ 本人の～したいは一部しか分からない。→調理以外のことは全て分かっていない。
- ・ 本人の目標や思いを職場内で十分に共有できていない。→時間的制約

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
利用者情報をより職員が共有できるよう、全体ミーティングを定期的 (毎月 1 回) に開催するよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 1 月 8 日

3. 日常生活の支援

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	1 人	4 人	2 人	9 人

前回の改善計画	
サービス担当者会議や家族とのミーティングの場には事業所から固定された職員が参加するのではなく、可能な限り複数の職員が参加する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
管理者、ケアマネ、生活相談員が主に会議に参加している。業務の都合上、全ての職員がカンファレンス等に参加するのは困難な状況にある。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	2	3	3	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	2		1	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	3	1		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	3			9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	2	1		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に関わる中で、体調の変化、気持ち等の共有はよくできていると思う。</li> <li>・食事介助時に、食べ方、残した物など気を付け、都度、ご利用者様に聞き取りをし、食事提供の仕方を考慮、ミーティングで共有している。</li> <li>・来所時連絡帳のご家族の記入を確認し、自宅での様子を把握し、バイタルチェックや入浴時ケアに注意している。</li> <li>・こうしたら、尚良いのでは？と話をすることもある。</li> <li>・利用者様一人ひとりに合った対応をするよう、職員同士心がけている。</li> <li>・日々の会話の中から情報を得る機会を作っている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活環境については、10 個以上は把握できていない。→サービス担当者会議、家族とのミーティングは、ケアマネ、看護師、生活相談員が固定で参加している。他の職員の参加、複数職員の参加は難しいのではないか。他業務があるため。</li> <li>・サービス担当者会議など固定された職員以外の参加はできていない。→複数の職員が会議に参加することは望ましいが、他の事が回らなくなるのでは？ミーティング内容を後日職員で検討し合うことも重要であると考える。</li> <li>・会議に参加していない。→調理担当で担当が違うから</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
会議に参加していない職員にも会議で協議した内容について、随時、口頭・書面等で共有できる仕組みを作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 1 月 8 日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	人	人	9 人

前回の改善計画	新規利用の際は事業所と家族の役割を明確にし、利用者と家族の関係が希薄にならないように気を付ける。また、事前情報（アセスメント等）は、口頭で伝えるのではなく、各職員が確認できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	概ね計画の内容はできているが、より職員間の情報共有が必要な場面もあるため、ミーティングの機会を増やす必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	1		9 (無回答 1)
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	4	3		9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	5	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	2	4	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・事前情報は職員が確認できるようケアマネが資料をコピーして提供してくれるようになった。</li><li>・連絡帳でご家族からの記入（自宅での様子）の確認、事業所でのご本人の様子など記入し共有することを心がけている。</li><li>・民生委員さんや地域の方のご本人への支援の把握。</li><li>・事前情報をミーティングノートなどで知る。</li><li>・インフォーマルな社会資源（近隣住民、自治会）をプランに組み込むよう心がけている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・職員が事前情報確認後、聞きたいこと、分からないことの確認ができていない。ミーティング不足。</li><li>・本人と地域の関わりや自宅の様子は知らない。→実際に訪問することがないため。</li><li>・通いのみの利用者は生活実態がよくわからないケースもある。</li><li>・通い訪問時間以外の把握。→特に独居の方は把握できていない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ケアプランとアセスメントのみの情報を共有するのではなく、利用者の生活像など具体的な内容を全員が共有できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 1 月 8 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	5 人	2 人	人	9 人

前回の改善計画	毎日の泊りの利用は、需要と人員の問題により現状では難しい。事前に分かる泊りの希望や急な利用者の変更の対応は他の事業所とも連携をとりながら対応していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	小規模多機能ふれあいと連携しながら、職員間交流や利用者の調整が図れたと考える。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	2		9 (無回答 1)
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	6	1		9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	7	2			9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	3	1		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・泊りは毎日できていないが、訪問で服薬、食の確保等しっかりできている。訪問は、充実している。泊りができないが、訪問、通いを充実させる施設にしてもよいのではないかと。</li> <li>・訪問や病院受診など柔軟に支援できている。</li> <li>・連絡帳の確認、家族への直接連絡などで、ご本人の様子を確認している。</li> <li>・必要な時は、泊り、通いなどで対応している。</li> <li>・通院介助など地域の方が協力してくれている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の泊りは現状難しい。→職員不足（泊りができる職員）。利用者からの要望は少ない。</li> <li>・お泊りの希望等に答えられないことがある。→夜勤可能な職員不足</li> <li>・夜勤などで、利用者様の様子が分からないままにしているため、もう少し、自分の出勤日以外の様子を把握できるようにする。</li> <li>・地域の資源をその人に合った活用がなされているのか分からない。→地域の資源をどのくらい使われているのか分からないから。</li> <li>・宿泊は毎日ではないので、全ての要望への対応が難しい。→夜勤者の十分な確保ができていない。</li> <li>・日中の見守りが不十分になる日、時間がある。→訪問内容にて日中施設内に残る職員に負担がかかっているため。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
泊りが毎日ではできないが、訪問や通いサービスの充実、地域住民との交流が図れるようひまわりらしきを出していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月8日
------------------	-----	----------

6. 連携・協働	メンバー	9名
----------	------	----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	人	1人	人	9人

前回の改善計画	報恩講は、ひまわり恒例行事として、開催する。地域のお寺さんには継続的にご協力を依頼する。
前回の改善計画に対する取組み結果	報恩講を今年も行事として行うことができた。引き続き、お寺さんに協力をいただき継続していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	4	2		2	9 (無回答1)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	1		3	9 (無回答2)
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	2		5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	5			9 (無回答1)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事の回数は少ないが、報恩講は継続できている。</li> <li>・ 今年も報恩講がお寺さんの協力により開催でき、ご利用者も喜ばれていた。</li> <li>・ 地域活動に積極的に参加している。サロンへの参加もしている。</li> <li>・ 週1度は、地域を廻り、声かけをしている。</li> <li>・ 会議はできていると思う。</li> <li>・ 学校からの見学や職場体験、実習等で、小中高生が訪れている。利用者も喜ばれている。+2</li> <li>・ 加計高校生と一緒にレクリエーションや体操など一緒に過ごすことができた。+1</li> <li>・ 利用者様の中には、サロンへ参加されている方がおられ、事業所以外の方とのふれあいがある。</li> <li>・ 報恩講については、地元のお寺さんに来ていただき、利用者様が大変喜ばれていた。+2</li> <li>・ 筒賀ふるさと祭りには利用者様と作品等を見学に行った。</li> <li>・ 長寿を祝う会に地域の方に参加していただいた。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナから外に出ること、人が来る回数が減ってきている。→地域密着型小規模多機能は地域に根差した施設、もっと地域の人に知ってもらう活動が必要ではないか。</li> <li>・ 介護業務メインなので、参加できていない。記録や申し送りノート等で確認している。</li> <li>・ 会議には参加していない→調理担当のため</li> <li>・ 報恩講は、一日のみだったため、参加できない人もおられた。</li> <li>・ 地域、各種関係機関への会議、活動、イベントには参加できていない。→一般の介護員が参加することがないため。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き、地域密着型サービスの特性を活かした地域に根付いた事業所として、行事への参加や学生の受け入れなどを行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年1月8日

7. 運営

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	5人	3人	人	9人

前回の改善計画	継続して、運営推進会議で頂いたご意見、提案を業務に反映させる。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議で話をした事項を一定の職員しか共有できていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	3	3	1	2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	6			9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	3	2		9 (無回答1)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	2	3	2	1	9 (無回答1)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議内容報告の理解</li> <li>・地域の方からの要望などを聞いている。</li> <li>・苦情について、対応されていると思う。</li> <li>・サロンとサロン10周年イベントに参加できた。</li> <li>・利用者家族からの意見や苦情があった場合は、他の職員に伝えている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で話された内容が分からない。→報告がないから</li> <li>・運営推進会議で頂いた意見、提案があれば、都度、職員に報告があれば業務に反映できるのではないかと思う。→サロンに参加しているスタッフの方と意見交換の場があれば、地域の声が少しは聞けるのではないか。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
運営推進会議で話した事項等を議事録に残し、職員間で共有する。また、ミーティングでの報告の機会などを設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 1 月 8 日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	4 人	1 人	人	9 人

前回の改善計画	ヒヤリハットや事故発生時の反省点から同様の事故を発生させない為の協議を都度行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	朝礼時等での共有を図ったが、振り返りのミーティングの場が足りていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	3	4	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	4	4	9
③	地域連絡会に参加していますか			3	4	9 (無回答 2)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5		2	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット、事故報告については、なぜ事故が起こったのか、今後、どうしたら良いか等しっかりと話し合いができています。浴室に手すりをつけたり、居室にセンサーマットを設置したり、テーブルの位置の変更等リスクマネジメントには取り組めたのではないかと思います。</li> <li>・研修に参加し、研修内容の報告、現場での実施をしている。</li> <li>・職場以外でも、勉強会に参加、実践している。</li> <li>・全体の見守りや転倒、身体変化 (異常の発見) に十分気を付けている。</li> <li>・ヒヤリハットを皆で共有している。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度については、研修があまりできていなかったように思う。</li> <li>・リスクマネジメントについては、転倒事故が多かった。生活動作中に発生している。未然に防ぐための取り組みはしているつもりだが、事故についての分析、対策不足があったのではないかと思います。→研修については、1 年間計画が必要ではないか。</li> <li>・事故発生時の報告はあるが、その後の反省、対策の話し合いができていない。→事故発生に対する自覚、認識不足があるのではないかとと思われる。</li> <li>・もっとたくさんの職員が研修を受講することができたら良い。→時間的、人的余裕がない。</li> <li>・研修に参加していない。→勤務時間外のため</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>事故が起きた原因や背景をもっと考える必要があるため、ミーティングの場などの協議の場活用して、振り返りとどうしたら同じ事故が起きないか職員全体で考えていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年1月8日

9. 人権・プライバシー

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	3人	人	人	9人

前回の改善計画	虐待、拘束、個人情報を守られているかのチェックを終業時に振り返りを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	上記の計画については、十分に取り組むことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9				9
②	虐待は行われていない	8	1			9
③	プライバシーが守られている	7	2			9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1		4	9 (無回答2)
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	2			9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・夕方ミーティング時、身体拘束がなかったかチェック項目にて、確認はできている。 ・ご本人の思いを大切に、支援することを心がけている。 ・職員間で気を付けている。 ・利用者様一人ひとりに合うようなケアに努めている。 ・「この職員さんはよくしてくださる」とありがたいお言葉をいただくことがある。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 事務的なことは、理解できておらず、誰が何の公的サービスを利用されているかを知るように努めたい。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 引き続き、虐待防止、身体拘束の禁止、個人情報の保護が守られているかのチェックを終業時に行う。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 安芸太田町社会福祉協議会	代表者	藤井 幸穂	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域で介護サービス等が必要となっても、安心した生活が送れるよう、顔なじみの職員が通い・泊り・訪問サービスを柔軟に提供している。特に、訪問には力を入れており地域資源とつながりながら地域社会に密着した支援を行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所「ひまわり」	管理者	吉川 徹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	3人	人	1人	人	人	2人	3人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	今年度より生活相談員（リーダー）が二人体制となる。「報告、連絡、相談」を密に行い職員間で情報を共有し伝達漏れを防ぐ。	生活相談員が2名体制になったことから利用者様からの多様な相談等に柔軟に対応ができた。また、職員間での情報共有も図りやすくなった。	○改革に向け取り組んでいることは理解できるが、評価は、今一度「再度確認」を要したいと思う（二度評価・確認を） ○事業所自身の自己評価については、書面等により確認できるものの、その他の評価項目については、分かりづらい点が多い。評価を依頼される際に、 ●前はこういう改善目標を立てた ●それについて、こういうふうに取り組んだ（口頭でもいいので）事前報告・レクチャーがほしいと感じる。 ○安芸太田町社会福祉協議会の他の事業所での問題点についても意見を参考にするとか過去の問題ではなくこんな事をした方が良いのか意見を取り入れれば職員が積極的になるのではないのでしょうか。 ○報告・連絡・相談に課題を感じている職員さんが多いようですが、共有したら何ができるのかが明確になると情報の取り方が個人個人の中で分かるようになるのではないのでしょうか。 ○相談員が2人体制になるなど心強くより良い話し合いが出来ると思います。	役職に関係なく全職員が意見を述べ、積極的に情報を収集できるよう努める。
B. 事業所の しつらえ・環境	生活支援ハウス側の廊下や厨房前広場の照明が蛍光灯を使用しているが経年劣化により使用できない箇所もあり薄暗い。日中活動に支障が出ないよう修繕する。	令和6年度町の予算により、大部分がLED化され、明るい雰囲気となった。	○改善に向け努力はされていると思うが、今一度内部で再検討を要す（二度）。 ○（2階の元浴場を除く）館内照明のLED化については、町の令和7年度予算計上済み ○ライトを取替え明るくし、雰囲気を良くする工夫をされていることが確認できた。 ○職員の動きやすい環境を第一に考えてやっていただくと良い。それには、意見集約が必要かと思えます。 ○天井が高く、冬季間は一寸冷えるかもしれませんね。	① 施設が広いため、防寒対策・節電に係るカーテンレールを設置する。 ② 車輛の点検を十分に行う。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>サロンと引き続き交流を図る。報恩講をひまわりの恒例行事として地域のお寺さんに依頼する。</p>	<p>サロン世話人さんと定期的に情報共有を図れた。 また、報恩講を報正寺の住職に来ていただきとり行うことができた。</p>	<p>○今一度ポジティブに・・・にと考えます。結果は不明ですが、「地域側から要望があって良いと思います。」 ○他の事業所との継続的な交流については、利用者さんの体調や人員体制などもしっかりと調整された中で実施されたい。 ○サロンに出向くなどできることからちゃんとしておられると思う。 ○ひまわりの活動自体 PR が必要ではないか。なぜならば、関係者は、仕事のなので分かっているが、一般の町民は再々お知らせしないと理解出来ないと思います。</p>	<p>ひまわりという事業所を地域の皆様により知っていただくために、周知用リーフレットを作成し、関係各所に配架する。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>民生委員さんを介して地域住民の方へ協力依頼を継続して行う。また、お茶の間サロンのメンバーさんと定期的に情報を共有していく。</p>	<p>民生委員さん、自治会、サロン世話人等と情報交換を随時してきた。</p>	<p>○サロンとの関わりは必要と思うが、反省会の場を設け「ああだ」「こうだ」の意見を集約して（利用者の思い）を知っていくことも大事である。 ○民生委員さんや地元自治会の方への協力依頼は、今後とも継続されたい。 ○民生委員さんと情報を共有されていることが分かった。 ○地域の暮らしの課題解決、困り感に寄り添う姿勢があると感じています。 ○在宅福祉の充実が叫ばれている現在ではありますが、認知症ともなりますと限界は感じますが、出来るところで、行く道に…協力させてもらったらと思います。</p>	<p>訪問支援を充実させることにより、本人宅に出向いて生活実態等を把握し、地域で安心して生活が送れるよう支援する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>消防訓練や施設行事に委員の方に参加して頂き、施設の状況を見て頂く機会を作る。</p>	<p>施設行事には、運営推進委員に参加していただいたが、消防訓練にはお声掛けをしなかった。</p>	<p>○委員会と施設との意見交換の場を多く持ってほしい。 ○会議で委員から提案された意見がスタッフ全員に共有できているか疑問。 ○業務上発生した利用者さんの怪我等については、運営推進会議での報告と併せ、(指定された様式により) 保険者にも報告すること。</p>	<p>運営推進会議で出した意見等を議事録に残す。また、全職員に対してミーティング時等に運営推進会議で出した意見等の共有を図る。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>大雨や大雪警報等により緊急避難を実施した際は運営推進会議で報告する。ひまわりが土砂災害危険区域に指定されている為避難先を変更する。</p>	<p>緊急避難は、なかったが、消防訓練等により、シュミレーションは行うことができた。</p>	<p>○地域と施設の交わりはどうあることが望ましいか、テーマを作っても良いと思います。 ○避難先の変更について、役場（危機管理室）等との調整により変更が可能であったか、確認されたい。 ○作成された防災計画の内容については、年6回の会議のうち1回でも良いので時間をつくって説明されると良い（委員も交代されるので）。 また、町の防災計画自体、毎年内容や表現等が一部改正が行われており、ひまわりの防災計画についても全体を見返してみるのが良いと思う。 ○年間計画書を作成して、確実に実施すると良い。</p>	<p>ひまわりが土砂災害危険区域に指定されている為役場危機管理室等と連携し、避難先の変更を検討する。 また、運営推進会議において、防災計画の内容を共有する。</p>

